



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成26年3月4日(火) 第2665回 例会 (本年度第29回)

3月11日(火)	お雛様鑑賞会とうどん打ち家族例会
3月18日(火)	職場訪問 東北電力鶴岡営業所様
3月25日(火)	RI規定休会④
4月1日(火)	理事会 会員スピーチ 上野欣一君

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

鶴岡ロータリークラブ
ホームページ



会長挨拶

嶺岸禮三 君

3月1日に新茶屋でザック・ターナー君の引継ぎ会があり、ホストクラブ代表の鶴岡東ロータリークラブ陶山幹事、菅原常彦青少年交換専任会計、第2ホストファミリーの大滝さんご夫妻、そして当クラブから会長・幹事、真島ご夫妻が出席しました。余日の大滝さん宅から真島先生宅へ引越が同日無事完了しました。3月1日から帰国の日まで当クラブがお世話をするようになります。特にホストファミリーである真島家の方々にはいろいろと気苦労をおかけしますがどうぞよろしくお願いいたします。なお、ザック君のカウンセラーは鶴岡東クラブの菅原会長が引き続き務めます。

幹事報告

小林健郎 君

GE事務所

○地区研修・協議会のご案内

日 時:4月19日(土) 登録 10:00

場 所:グランドエルサン

参加者:会長エレクト・次期幹事

登録料:一人2,000円×人数分

※ネーム持参 締切4/1

昔々の ものがたり

ロータリー情報・広報委員会 佐々木詰彦 君



鶴岡RCへの入会は、昭和58年、当時の会長は内山喜一氏、内山書店の社長であった。推薦者は、大学の先輩ということで新穂設計事務所の社長、新穂光一郎氏である。

当時会員であった阿部のぼる先生からの推薦をいただいて入学した東北大学大学院を卒業、暫らく郷里を離れて暮らしていた東京から鶴岡に帰り、父が創立した幼稚園の仕

事をしている時、先生から誘いを受けてロータリークラブへの入会を勧められた。当時師匠である父の高齢に伴い、現在任職をしている山寺寶藏寺の後任任職に任命されて入会を薦められた。阿部先生は恩師でもあり、寺の檀家役員でもあった。それから実際に入会が認められるまで半年という時間がかかった。新入会員の審査は、当時相当に厳しかった。東北大学の先輩で当時の会員であった新穂光一郎氏のおかげであると聞いている。入会の許可について、会員に同じ僧職の藤川享胤氏がおられたため、職種についての議論があったと聞いている。入会資格職種は幼稚園であった。ロータリーの1業種1名は厳しいものであったらしい。

入会までの間、度々声をかけられたのは、一日市町にあった中国飯店の中江氏からであった。そこで同時期の入会になった齋藤昭氏と顔を合わせるようになった。彼には後に幹事を務めていただいた。

阿部研究室の学生であった時代、先生のお供をして出かけたのが当時酒田にあった中国飯店である。昭和20年代酒田市に店があった。清水屋百貨店の近くで、中江氏と最初にあったのもその店であった。

現在、鶴岡クラブは、アメリカのニューブランズウィックRC、鹿児島西RC、台中港区扶輪社との姉妹クラブ、会津若松南RC、東京東江戸川RCと友好クラブの盟約を交わしている。その中で特筆しておきたいのは台中港区扶輪社である。阿部のぼる先生は戦時中、満州の師道大学の教授であった。先生の教え子であった学生の一部は台湾に移り、台中の大学から日本に留学、そこで阿部教授と再会し、酒田から鶴岡に移転していた中国飯店の中江氏にも会い、そこに私も招かれたことがある。その事が機縁になり、新穂光一郎氏が姉妹クラブについて働きかけたと聞いている。

ロータリーの使命は、友好の輪を広げることであるとの考えから、2つのクラブから友好クラブ締結の提案があった。1つは京都亀岡クラブ、もう一つは静岡日本

平クラブである。亀岡クラブは、会津若松南RCから打診があった。静岡日本平クラブとは台中港区扶輪社と同じ姉妹クラブの縁で話が出たが、どちらも実は結ばなかった。

ようやく入会が許されて、例会場に呼び出されたのは、昭和58年、会場には錚々たる先輩諸氏の視線が厳しかったことを今も忘れない。

SSAと言われる会場監督の役につく会員は、例会の会場では絶対の権限を持つという。俗に鬼軍曹とも言われ、会長といえども、その鬼軍曹の言うことを聞かねばならないと言われていた。進行についても、着席についての指示についても、会長でも会場内ではSSAの指示に従わなければならない。

入会のセレモニーにあたって入会資格の7つ道具を渡され、手続要覧を読むこと、例会は出席が会員の義務であること、そして会長の手でバッジがスーツの襟に付けられた。今在籍している会員は、阿蘇さん、藤川さんの二氏が先である。

出席委員を担当した時、当時の会員は80名前後だったと記憶している。クラブの例会場は当初一日市の料亭「ひさごや」であった。まだ入会する前の昭和51年3月18日、火災で焼失し、例会場は鶴岡商工会議所に移転した。

のち平成元年に、高橋良士氏が会長になり、会長から指名されて幹事を務めることになった。この出会いがなければ今の私は無い。当時のクラブは隆盛の時期で会員の中から手狭になってきた例会場の変更が囁かれるようになった。

会場の変更積極的に働きかけたのは、当時東京第一ホテル鶴岡の支配人であった、今は亡き大川孝氏であったが、会員の中には異議・異論もあった。そのため会場の変更を検討する委員会は、高橋年度の最も重要な会議となり、多くの時間が費やされたことの記憶がある。異議・異論の中には、クラブ協議会の会場としていた市内の数件の料亭に対しての配慮も多く、なごやかな座敷での懇親の場が失われる事への郷愁もあったと感じている。

平成8年、会長に任命されるにあたって、クラブ会員数の維持と増強の計画を立て、さらに広くロータリークラブの存在をPRする目的も兼ねて会員公募を実施した。この時参考にしたのは商工会議所の会員名簿等である。応募に応じて参加していただいたのは10余名であった。その時の会員で現在も会員の方は上野欣一氏である。

平成5年、鶴岡南RCが創立された。その時の特別代表は中江亮氏である。中江氏から私設幹事を命じられ、前後1年に及んで代表、その他IMの原稿整理、草稿など良い勉強をさせられた。

入会以来、会員の特権として、そう多いとは言えない他クラブの例会にメイクアップする機会があった。

東京、東京赤坂、京都亀岡、村上、青森、東京本郷、静岡日本平の各ロータリークラブへのメイクから、それぞれに良い経験をさせていただいた。

ロータリークラブ会員の義務は、ご承知の通り、会費を納めること、例会には必ず出席することと定款にある。1461回の例会から出席委員を務めることになった。会員数も当時80名余り、賑やかな例会であったが、出席率は目標の100パーセントにはならなかった。

出席は会員の義務と言いながら、それぞれが企業・団体の長である会員は、例会の出席ができないことがある。いくらかでも出席率の向上の一助になればと、出席委員会報の発行をした。これも賛否両論があったが、通算47号までを発行した。これには出席委員としての義務、新入会員のメイクアップ同伴義務に役立ったとの声もあった。

その事も兼ねて、石黒慶之助氏に呼ばれたことがある。会員の多くは職業煩多で、つい例会出席の支障になる。ついでに、例会の変更についての意見をいただいた。すなわち、例会とは一定の日・時に開催されるのだから、むやみに例会は変更すべきではない。誠に正當なご意見であった。何よりも他の地区・地域からのメイクアップの迷惑になることも考えたいと言われた事を思い出す。



委員会報告

◆ローターアクト委員会 委員長 菅原成規君

4月12日(土)国際ロータリー第2800地区ローターアクト年次大会が鶴岡ローターアクト主管で開催されます。鶴岡RACのスポンサークラブとして会員の皆様の御協力をお願いいたします。

◆出席委員会

◎メイクされた方

俣野秀樹・越智茂昭・佐藤孝子・菅原成規・牧 衛

スマイル😊

佐々木詰彦君 スピーチ傾聴して頂き感謝申し上げます。

上野欣一君 佐々木先生、鶴岡RCの歴史を語っていただき、とても勉強になりました。

真島吉也君 佐々木先生、入会以来のクラブの歴史、ご自身との絡みなど興味深く聞かせていただきました。

嶺岸禮三君 佐々木先生、スピーチありがとうございました。

出席報告	会員数	38名
	出席	27名
	出席率	77.14%
	前々回確定出席率	80.00%

RI会長 ロンド・バートン	地区ガバナー 新関彌一郎
会長／嶺岸禮三	副会長／越智茂昭
幹事／小林健郎	会長エレクト／丸山隆志
会報委員会／嶺岸禮三・本間 厚・石田 雄・丸山隆志	
事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376	